

おおむた 市議会だより

第226号

令和5年度
9月議会

令和5年(2023年)11月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



eスポーツでボウリングに挑戦 (9月30日 中央地区公民館)

【主な記事】

- 市民と市議会と市長の関係～二元代表制の紹介～／ぎかいの話題(2ページ)
- 羽ばたく大牟田へ新体制スタート(第二部)／ぎかいの話題(2、3ページ)
- 大牟田市議会で採用する会派制について／ぎかいの話題(12ページ)

ぎかいの話題

市民と市議会と市長の関係 ~三元代表制の紹介~

市議会は、市民生活に密接に関係する市の予算や条例などについて、話し合い、市長が執行する行政サービスへ、市民の声を反映させながら決めていく機関です。



執行機関である市長も、議会を構成する議員も、ともに地方自治の主役である市民から選挙によって、市民の代表者として選ばれ、それぞれ独立・対等な立場で市の発展のために活動しています。

羽ばたく大牟田へ 新体制スタート 第二部

前号225号に引き続き、令和5年4月23日に行われた大牟田市議会議員選挙において選出された議員を紹介します。

前号で紹介した議員は、右側のQRコードにて確認いただけます。



山口 雅夫
議員①

①36歳 ②平原 ③スポーツ・映画鑑賞、妻と一緒に愛犬と遊ぶこと ④男子は生涯、一事を成せば足る ⑤程よく田舎で、そこそこ何でもあり、交通利便性も高く生活しやすい ⑥栄枯盛衰は世の習いと言いますが、再びまちを発展させたいと思っています。若い世代の代表としても「次の時代を創る」という気概を持ちながら、地元政界を牽引する人材になれるよう精進してまいります。



山田 修司
議員②

①53歳 ②大正 ③ものづくり ④「生きる」ことは「行動すること」 ⑤東に三池の山、西に有明の海をたたえた詩情豊かな郷土と、この地で暮らす情けに厚い人々。 ⑥自秋は柳川を「山門は我が産土（うぶすな）」と詠いました。私の産土である大好きな大牟田。次の世代にバトンを託すその日まで、何事にも全力で取り組みます。



中原 誠悟
議員③

①48歳 ②みなと ③野球、アウトドア ④初志貫徹、懸情流水、受恩刻石 ⑤都会と田舎が程よく混在しているところ。三池港、大蛇山まつり ⑥災害対策はもちろんのこと、誰もが生きがいを感じるまちを目指し、人口減少、子育て環境の充実等の課題に積極的に取り組んでいくとともに、徹底的現場主義をモットーに、初心を忘れず、皆様の声を市政に届ける役割を果たしてまいります。

(番号の見方) ①年齢 ②校区 ③趣味 ④座右の銘など ⑤大牟田の好きなところ ⑥所信
(名前は所属会派) ①: 自由民主党市議団、②: 民主・護憲クラブ、③: 公明党議員団、④: 無所属

ぎかいの話題



森 竜子
議員⑤

①52 歳 ②中友 ③読書 娘と一緒にカラオケに行くのも楽しみです ④全ては子供たちの未来のために ⑤生まれ育ったまちなので良いところも足りないところも含めて大好きなまちです。⑥子供たちがこのまちに生まれ、育ち、住んでよかったと思えるまちづくり、三世代にわたって地域で安心して暮らせるまちづくりの実現のため全力で頑張ります。



森 遵
議員⑤

①58 歳 ②大牟田中央 ③音楽鑑賞（ロック、ジャズ、演歌など何でも）ドキュメンタリー視聴（視野が広がります）④人事を尽くして天命を待つ。笑う門には福来る（経験上、当たってます）。⑤まちづくりに一生懸命な人が多いと思います。動物園や諏訪公園をはじめ魅力的な場所も多いですね。⑥大牟田の未来に希望を感じていただける 4 年間で皆さんとともに創ります。



松尾 哲也
議員⑤

①63 歳 ②銀水 ③ソフトテニス ④命に過ぎたる宝なし（生命ほど大切な宝はこの世にない。健康第一）⑤公共交通に恵まれ、自然豊かで、比較的物価が安いところ。⑥人口減少対策、企業誘致による雇用の創出、交通難民をなくし、公共交通の充実で市民の移動の確保、子育て支援の充実など、大牟田市の発展と住み良いまちづくりに取り組んでいきます。



塩塚 敏郎
議員④

①65 歳 ②明治 ③将棋・音楽（ドラム）④今日のあとに今日はない ⑤田舎過ぎず・都会過ぎない、子供から大人まで暮らしやすいまち。⑥変わりゆく地域社会で安心と活力ある大牟田を見出すため、一人に寄り添い国と地方を連携させながら現場の声から政策実現へとつなげていき「誰もが安心して暮らせる社会」を目指し全力で取り組んでいきます。



三宅 智加子
議員④

①64 歳 ②平原 ③観劇、スポーツ観戦、園芸、フルス（中国雲南省の民族楽器）演奏 ④心こそ大切なれ、桜梅桃李 ⑤人情味あふれる人柄、懐深く包んでくれる三池山、有明海の夕日 ⑥「政治は一人一人の皆さんの幸せのためにある」をモットーに活動しています。小さな声を聴く力を大切に、生まれ育った大好きな大牟田のまちづくりに取り組んでいきます。



平山 伸二
議員④

①62 歳 ②大牟田中央 ③音楽鑑賞や映画鑑賞、ドライブ ④「和を以て貴しとなす」は人間社会のあらゆる関係に当てはまりますし、「勇氣」は何事も成し遂げるのに必要。⑤海あり山あり、有明海に見える夕日はきれいだと思います。⑥さらに、誰もが住みやすく、住んで良かったと思えるようなまちづくりを目指すことです。



大野 哲也
議員④

①61 歳 ②吉野 ③映画鑑賞 ④苟に日に新たに、日に新たに、また日に新たに ⑤誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進している。⑥「明るく楽しく朗らかに」をモットーに誠実に丁寧に一人一人の声を聞き、市民の皆さんが抱えている問題や、市の諸課題を解決するために、全力を尽くして取り組んでまいります。



光田 茂
議員⑤

①73 歳 ②天領 ③スポーツ鑑賞 ④義を見てせざるは勇無きなり ⑤気候が温暖で、自然環境に恵まれ、また医療機関の多さや、幼保・学校教育が充実し、買い物する場所も多く、生活しやすいところ ⑥市民の皆様と一緒に、観光やスポーツで人が集うまちづくりを行えば、必ず大牟田市は明るく元気な町になる。

(番号の見方) ①年齢 ②校区 ③趣味 ④座右の銘など ⑤大牟田の好きなどところ ⑥所信
(名前後は所属党派)⑤: 自由民主党市議団、④: 民主・護憲クラブ、④: 公明党議員団、⑤: 無所属

ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

令和4年度決算の認定、子ども・子育て応援条例等を可決

9月議会

令和5年度9月議会は、9月4日に招集され、9月27日までの24日間の会期で運営されました。

9月議会で審議した議案等は、令和4年度の各会計決算7件、予算議案6件、条例議案等8件、その他の議案3件、報告8件、人権擁護委員の推薦の諮問1件及び意見書案5件の計38件でした。

一般会計補正予算の主な内容は、物価高騰の影響を受けているLPガスを使用している市民・事業者への支援、公

立中学校夜間学級の令和6年4月の開校並びに不登校特例校の指定に向けた経費、大牟田駅西口の情報発信拠点整備に要する経費となっています。

本会議では、市長の市政における4年間の総括、地域公共交通及び教育環境等への取組などに11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、令和4年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し審査を行いました。

本会議終了日までに、意見書案の発議2件を除いた議案、発議及び諮問を、それぞれ認定、可決、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌(7月～9月)

- 【7月】** 12日 広報広聴委員会広報部会
13日 広報広聴委員会広聴部会
19日 広報広聴委員会広聴部会
20日 各派代表者会
25日 市民教育厚生委員会、広報広聴委員会広聴部会
28日 広報広聴委員会広聴部会
- 【8月】** 7日 各派代表者会、議会運営委員会
9日 広報広聴委員会広聴部会
17日 広報広聴委員会広聴部会
21日 各派代表者会
24日 広報広聴委員会広聴部会
28日 各派代表者会、議会運営委員会、全員協議会
29日 総務委員会
30日 市民教育厚生委員会
31日 都市環境経済委員会、広報広聴委員会広聴部会
- 【9月】** 4日 本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
8日 本会議〔質疑質問〕
11日 本会議〔質疑質問〕
12日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
13日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、広報広聴委員会広聴部会
15日 各派代表者会、議会運営委員会、本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、総務委員会、都市環境経済委員会、決算特別委員会、広報広聴委員会広報部会
19日 決算特別委員会
20日 決算特別委員会
21日 決算特別委員会、広報広聴委員会広聴部会
22日 決算特別委員会、起草委員会
27日 起草委員会、議会運営委員会、本会議〔決算議案採決、閉会〕

委員会メモ

(仮称)大牟田駅若者情報発信拠点整備事業について

【総務委員会】

8月29日の委員会で、大牟田駅西口の構内に、若者たちの情報発信・待合場所となるような拠点を整備し、新たなコミュニティの場、にぎわいの場を創出する旨の説明を受けました。

本事業は、昨年行われた議会報告会での意見などを参考に事業化されるもので、学生とのワークショップ等を実施したのち、令和6年度から供用開始される予定です。

大牟田市立中学校の新標準服について

【市民教育厚生委員会】

8月30日の委員会で、市立中学校の新標準服について、説明を受けました。

安全性、機能性、耐久性、経済性等に優れ、生徒の健康管理に適し、生徒誰もが安心して、自分らしく、学校生活を送ることができるものとして考えられています。

官民連携まちなか再生推進事業について

【都市環境経済委員会】

8月31日の委員会で、令和5年2月に設立された大牟田まちなか再生推進エリアプラットフォームの取組内容に関し、第1回全体会が開催されたことなど、現在の事業進捗状況及び今後のスケジュール等について説明を受けました。

9月下旬にシンポジウムが開かれており、今後、さらに議論が進められる予定です。

議案等の審議結果

議案等名	議員名	自由民主党市議団										民主・護憲クラブ				公明党議員団				無所属		賛成数	審議結果				
		森遵	江上しほり	桑原誠	徳永春男(議長)	豊福達也	中原誠悟	光田茂	森竜子	山口雅夫	松尾哲也	奥村橋倫	櫻井ちはる	船原基近	古庄和秀	森田義孝	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司			北岡あや	崎山恵子	山田貴正	
議案第25号	令和4年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	認定
議案第26号	令和4年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	認定
議案第27号	令和4年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	認定
議案第28号	令和4年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	認定
議案第37号	大牟田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	多数可決
議案第48号	令和5年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	多数可決
発議第9号	A L P S 処理水の海洋放出を一旦停止し、関係者との話し合いを求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議第10号	現行の健康保険証廃止の見直しを求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議第11号	ブラッドパッチ療法(硬膜外自家血注入療法)に対する適正な診療上の評価等を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決	
発議第12号	核兵器禁止条約第2回締約国会議にオブザーバー参加を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で認定、可決、異議なき旨答申。

議案第 29 号	令和4年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について
議案第 30 号	令和4年度大牟田市水道事業会計決算の認定について
議案第 31 号	令和4年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について
議案第 32 号	令和5年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 33 号	令和5年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 34 号	令和5年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 35 号	令和5年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 36 号	令和5年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 38 号	大牟田市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 39 号	大牟田市子ども・子育て応援条例の制定について
議案第 40 号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 41 号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 42 号	大牟田市学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 43 号	大牟田市空き地及び空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 44 号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 45 号	令和4年度大牟田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 46 号	令和4年度大牟田市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 47 号	請負契約の締結について(大牟田市橋中学校再編校舎増築、擁壁築造等工事)
発議第 13 号	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書案
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について(前田京子氏)

インフォメーション

■次の定例会は12月です
 詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ
 本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。
 インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

行政視察受入実績

行政視察受入(7月～9月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
7	13	兵庫県	伊丹市議会	イノベーション創出促進事業
7	25	富山県	富山市議会	官民連携まちなか再生推進事業
8	17	東京都	目黒区議会	イノベーション創出促進事業
8	17	熊本県	熊本市議会	認知症ケアコミュニティ推進事業
8	29	大阪府	高槻市議会	イノベーション創出促進事業

代表質問

ツール・ド・九州2023の開催



市長の政治姿勢について

問 4年間の市政運営の総括は。

答 災害からの復旧・復興及び感染症対策に取り組んだ。また、安心・安全に生活ができ、市内外の方にとって魅力的なまちづくりに向けた取組を着実に前進させた。

問 次期市長選挙に出馬することだが、市政に対する考えは。

答 4年間の取組を発展させ、子供たちが生き生きと仕事をし、安心して生活ができるまちをつくるため、引き続き先頭に立ちたい。

問 本市の課題と今後のまちづくりへの決意は。

答 排水対策の実施、新たな企業の誘致、地域経済の活性化、まちなか再生及び子育てしやすい環境づくりなどの課題について、市民、事業者及び関係機関の協力を得ながら積極的に進めていく。

再発言 人口流出を止めるため、市長からも地元企業に地元での採用をお願いしてもらいたい。

問 選挙の投票率向上に向けた対策は。

答 大型商業施設での期日前投票所の増設、各種啓発活動、出前講座、郵便投票制度の要件緩和の要望などに取り組んでいく。

マイナンバーカードをめぐる状況

問 様々なトラブルが起きているが、本市の状況は。

答 希望されていない健康保険証の利用登録を誤って行ったものが1件あった。健康保険証、公金受取口座等のひも付け、諸証明交付のトラブルは確認されていない。誤登録を発生させないように、支援マニュアルの遵守を徹底する。

再発言 市長会等を通じ、制度の延期や撤回の声を上げられたい。

ツール・ド・九州2023の開催



問 ツール・ド・九州2023の開催に向けた市長の思いは。

答 世界で活躍する選手を迎えられることをうれしく思う。多くの皆さんとともに、応援をしたい。

再発言 開催を契機として、サイクリングロードの整備を。

地域公共交通の充実

問 自宅からバス停等までの移動ができない方をどのように移動させていくのか。

答 庁内の公共交通のあり方検討委員会において検討をしていく。

問 MaaS*の実証実験を行うが、その効果は。

答 移動手段をつなぐことにより快適な移動が可能となる。

また、官民連携による地域交通の最適化、イベントの情報配信、デジタル乗車券及び商業施設との連携による移動需要などが効果として挙げられる。

JR銀水駅トイレ改修プロジェクト

問 JR銀水駅のトイレ改修に対する市長の考えは。

答 銀水校区まちづくり協議会と中学・高校と一緒に実行委員会を立ち上げ、募金活動に取り組んでいる。地元の熱い思いを受け止め、整備の検討を進めたい。

再発言 成功に向け、市長や職員にも御協力をお願いしたい。

*MaaS…バス、鉄道、タクシー、シェアサイクル等の移動手段を最適に組み合わせ、検索、予約、決済を一括で提供するサービス。

有明海沿岸地域のリーディングシティを目指したまちづくり



自由民主党市議団
森 竜子 議員

本市が目指す10年後の都市像に向かって

問 市長就任後の4年間をどう総括し、これからのまちづくりにつなげていくのか決意を聞きたい。

答 令和2年7月豪雨の災害対応、新型コロナウイルス感染症対策を最優先で取り組むとともに、未来を見据えた三つのまちづくりに取り組んできた。企業進出や大型ホテル誘致、官民連携によるまちなか再生ビジョン策定など新たな動きが始まっており、これらをさらに発展させ、将来を担う子供たちが生き生きと仕事をしながら、安心して生活できるまちづくりを目指し、市政の先頭に立ちたい。

問 第7次総合計画が策定されているところだが、5年後、10年後の財政運営の見通しは。

答 今後5年間は、財政調整基金の繰入れをする可能性はあるものの大きな財源不足に陥ることはないが、令和9年度以降は、過疎債が活用できないこと等による公債費の負担増加を想定。加えて、災害に強いまちづくりへの経費や

社会保障関連経費の増加、公共施設の維持改修などの課題もあり、厳しい財政状況が続くと考えている。

再発言 ゼロベースで全体を点検するため、庁内連携や情報共有を行い、厳しい財政運営であっても必要な施策にはしっかり予算確保できるよう、様々な視点での取組を。

学童保育所・クラブ待機児童ゼロと充実

問 夏休み児童預かりモデル事業の成果と課題は。

答 認定子ども園2か所で事業を実施したが、いずれも定員を上回る申込みがあり、夏休みだけでも預けたいというニーズに応えることができた。また、アンケートを分析し課題把握と改善策の検討を行う。

再発言 選択の幅の広がりや目的に合った利用の定着により、潜在的な待機も含めた待機児童ゼロの実現に向け、事業の継続・拡大を要望する。

問 産休や育休での利用は。

答 産前産後休暇中は出産予定月の2か月前から2か月後まで利用できるが、育児休業中は利用対象外となっている。

再発言 産休中に利用できることを周知するとともに、育児休業中の利用も検討し、職場復帰の際には、もといいた学童に再度スムーズかつ確実に預

けられる環境を整備されたい。

松原中への義務教育学校設置で本市の教育拠点へ

問 義務教育学校の開校はいつを目指すのか。

答 具体的な期間は、基本計画等を策定する中で決まる。他都市の例では6、7年かかると聞いているが、できるだけ早い設置に向け取り組む。



不登校の子どもたちに学びの選択肢を広げて

問 本市では不登校の児童生徒が増加傾向にある。人員を配置した校内教育支援センター※の機能を有すべきでは。

答 その財源確保に向けてしっかり検討していきたい。

問 松原中学校への夜間中学と学びの多様化学校の開校準備や周知等が十分なのか疑問に思う。教育委員会の見解は。

答 誰一人取り残さないという理念の実現を目指し、夜間中学校、学びの多様化学校の開校に向け、着実に取り組みたい。説明が不足していた点は深くお詫びし、今後、丁寧にしっかりと進めていく。

再発言 学びの多様化学校を設置するなら昼間の学校が必要。何より新たな不登校を生まない取組が最優先であることを念頭に置いて再検討を。

※校内教育支援センター…学校には行けるが自分のクラスには入れないときなどに利用できる、学校内の空き教室等を活用した部屋。児童生徒のペースに合せた相談対応や学習のサポートを行う。

代表質問

健康で、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の構築を



市長の政治姿勢

問 まちづくり総合プラン(案)の期間見直しの理由は。

答 将来の人口減少や市を取り巻く環境の変化を見据え、今後必要となる大型公共事業の実施等を盛り込む必要があるため、10年間の計画とする。

再発言 市民ニーズや地域課題、社会情勢など、柔軟に対応した計画の策定を要望する。

問 2035年の人口目標10万人を踏まえた施策への考えは。

答 次代を担う若い世代の増加に取り組む必要があるため、安心して子育てできる環境づくりや若い世代に働きたいと思われる雇用の場づくりなど、移住・定住の促進を図り、10万人維持を目指したい。

再発言 経済的な充実、雇用形態に関係なく全体的なベースアップ、特に若者の給料アップを社会全体で考えてもらいたい。また、婚活・結婚支援から子育て支援や若者への住宅支援が重要となる。

松原中学校区の教育環境の充実

問 義務教育学校の設置に向けた経緯と方針は。

答 児童生徒の学力向上や不登校の解消に向け、小中一貫教育を進めており、全

市的に充実させるためには、先進的な研究実践校として義務教育学校が必要と考える。

問 夜間中学及び不登校生徒も受け入れる不登校特例校の設置に向けた方針は。

答 平成28年に、国の教育機会確保法の成立を受け、本市も令和元年より国の方針に基づき、市内全域からアクセスが便利な松原中学校への設置・検討をしている。令和6年4月開校を目指すとともに、「不登校特例校」改め「学びの多様化学校」の指定に向けた手続きを進めている。

再発言 松原中学校区への特例校の設置については、大牟田の教育理念である「誰一人取り残されない」という観点での取組をお願いしたい。



大牟田市立松原中学校

地方行政のデジタル化

問 回覧板の電子回覧板への移行など、柔軟で多様な連携を可能にする自治会等のデジタル化の推進状況は。

答 デジタルツールの利用の促進と情報格差の解消に取り組み、運営の効率化に向けたデジタルツールの活用について取りまとめていく。

再発言 安全かつ安心して暮らせる地域を守る自治会等の役割は非常に大きい。長期的な取組だが、自治会等でデジタル技術を活用した地域コミュニティの再構築を要望する。

将来の地域公共交通

問 高齢者等の交通弱者に対する新たな移動手段について問う。

答 高齢者等の交通弱者に対しては、生活交通支援事業の中で、自宅まで迎えに来る予約型乗合タクシーなどの実証実験を踏まえ、地域ニーズに応じた移動手段の導入を進めている。

再発言 市民、利用者目線で、地域公共交通の利便性のさらなる向上を要望する。

高齢者に勧められるワクチン

問 带状疱疹ワクチン接種助成事業実施への見解は。

答 国の定期接種化に向けての検討状況を注視したい。

再発言 予防接種費用は高額であるため、带状疱疹ワクチン接種助成事業については、実施・検討を要望する。

一般質問



子育て世代に魅力的なまちづくり

問 第6次総合計画において、具体的に取り組んだ子育て支援の内容は。

答 結婚、妊娠、出産、子育て

に係る切れ目のない支援を行っており、おおむた縁結び支援事業、専門職による子育て家庭に寄り添った相談支援、学童保育所の定員拡大に向けた施設整備及び夏休み預かりモデル事業に取り組んだ。

再発言 多くの声を聞き、積極的に事業を拡大されたい。

現庁舎の取扱いと新庁舎整備の考え方

問 基本方針に、令和5年度までに本館の取扱いの決定を目指すとするが、進捗状況は。

答 民間活用を基本に検討を進める。昨年度から検討支援業務を委託し、全国規模及び地元事業者へのヒアリングを行い、現時点で可能性があると考えられる事業計画を仮説として整理した。

今後、事業費のシミュレーションを踏まえた利活用指針案を取りまとめ、庁舎整備、基本構想の検討に反映させる。

再発言 新庁舎整備までの間の庁舎の耐震性能不足が、市民や職員に大きな不安を与えないよう対応を求める。



税の配分は政治の責任

問 税の配分や事業の優先順位をしっかりと考えて業務を推進することにより、有明圏域での産業・スポーツ・観光・

教育面等で大牟田市がリーディングシティとなることが、人口10万人の都市の維持に必要であると思うが。

答 イノベーション創出拠点や新産業団地への企業誘致、子育てしやすい環境づくり等の積極的推進、有明海沿岸の都市との連携等により、人口10万人を維持し、有明海沿岸地域全体をリードする都市として大牟田を発展させたい。

問 建設業務代行者の撤退から4年、現在の再開発事業の状況は。

答 実施主体の再開発準備組合が中心となり、事業者協議と併せて資金計画の検討も行われている。

問 事業の早期実現に向け、再開発事業の促進にどう取り組むか、市長に伺う。

答 再開発事業の実現は、中心市街地の活性化につながる重要な事業。市としても、できる限り支援したい。

新栄町駅前地区市街地再開発事業について



子ども・子育て応援条例について

問 主体者である子供たちの学びの場で、この条例を学習する機会を設けてはどうか。

答 本条例は、本市で育つ児

童生徒にとって、大変意義深いものとする。小6と中3の社会科において、人権を学習する中で、条例の内容を取り扱うことが考えられるため、各校で取組を検討したい。

踏切内の点字ブロックについて

問 本市の踏切内への点字ブロック設置についての見解は。

答 本市においても、視覚障害のある方々の踏切横断時の安全性を確保するため、危険性の高い踏切内における点字

ブロックの設置に向け、現在、関係機関で構成した福岡県踏切道改良協議会において、協議・検討が行われている。

道路補修のLINEなどの活用について

問 他都市でもLINEを活用されているが、市の見解は。

答 危険箇所早期発見や迅速な対応、事務の効率化につながるものと考えている。他市の実施状況など、聞き取りを行い、活用に向けた検討を進めたい。

一般質問

子育て支援としての
学校給食費の無償化

問 給食費の無償化は、子育て施策として全国的に加速している。無償化を実現するためには財源が課題となるが、

昨年度の給食費の保護者負担額の状況は。

答 保護者には食材料費のみ負担いただいております。負担額は約3億3,800万円となっています。

再発言 給食費の無償化は、子育て支援、少子化対策及び移住・定住にもつながることから、財源を理由とせず、実現に向けた検討を要望する。

公共施設の学習スペース
としての開放

問 えるるの自主学习スペー

スが足りないとの声を聞くが、えるる以外で自主学习が可能な公共施設は。

答 図書館内に23席ほど、地区公民館ではロビーやフリースペースが活用されている。

再発言 お金をかけず、今ある公共施設を生かした方法として、図書館3階会議室活用、各地区公民館のロビー等への机や長机の設置、おおむたアリーナ完成後の会議室の活用などにより、勉強したい子供、若者のために学習スペースを確保されるよう要望する。

小中学生が登下校時に背負う
重たいランドセルやリュック等の
中身の負担解消を

問 猛暑の中、小中学生は、重たい荷物を毎日背負い、手荷物を持って登下校している。通学時間が30分以上かかる子

供もいる。登下校時に背負うランドセルやリュック等の中身は重たすぎるのではないかと。

90%の子供はランドセルが重いと感じているといった調査結果や、ランドセルが重かったり痛かったりしても、子供から言い出しにくい現状があるのではないかと、といった報道もある。子供たちの身体的・精神的な負担が解消されない要因は何か。

答 小学校の通学かばんとしては、ランドセルだけでなく、リュック等も認められている。

置き勉も認めるときちゃんと通知しているが、それでも重いという児童生徒がいれば、個別に丁寧に対応し、各学校にもう一度周知徹底したい。

再発言 小中学生が登下校時に背負う重たい荷物については、憂鬱感や肩の痛みなど心身への影響が懸念され、年齢や体重に適した重さにすることは急務ではないかと。適切な調査を実施し、現状を把握したうえで、小中学校の子供たちに寄り添った負担解消策を早急に実施されたい。



学校の安全対策について

問 水泳授業の民間プールへの事業委託状況は。

答 現在、民間プール移行の優先順位を、1番目に橘中学

校、2番目に松原中学校とし、以降は学校再編等の状況を踏まえ、協議を進めている。

再発言 安全体制も考慮し、民間プールへの移行をぜひ進めてほしい。

新産業団地の可能性調査
について

問 新産業団地の可能性調査では、臨海部のエリアが適地ということだが、どのような企業誘致が考えられ、どのような期待ができるか。

答 工業専用地域でまとまっ

た用地の確保ができ、水道等のインフラ整備が整っていることなどを踏まえ、臨海部のエリアを早期の整備が可能と考えられる土地として選定。

立地業種としては、九州の社会経済情勢や工場立地動向を踏まえ、金属製品や生産用機械器具等の企業誘致や、半導体関連産業の誘致を見込んでいる。

企業誘致を進めることで、雇用創出、税収の確保及び地場企業との取引拡大など、地域経済の活性化につなげたい。

一般質問



介護保険料の引き下げを

問 年金からの介護保険料等の天引きや昨今の物価高騰により、生活に苦しむ市民が増えている。9期計画にて介護

保険料の引き下げを考えては。
答 国のシステム等を踏まえて、給付の見込みなどを勘案して算出している。

再発言 生活実態を把握し、払える介護保険料にすべき。

介護従事者の基本報酬を他の産業並みへと引き上げを

問 市内の介護士不足は深刻な状況。これを解消するために、基本報酬を他の産業並みに引き上げるべきでは。

答 介護事業所は、人材確保に苦慮されている。その主な

理由として、業務負担が大きいいにも関わらず、他の業界と比べて給与水準が低いことなどがある。今後、介護サービスの需要はさらに高まると見込まれ、介護人材の不足は重要な課題。市としては、事業所へ処遇改善加算等の取得推進の働きかけや、市長会を通じて国への要望を行っている。

再発言 介護の課題は、まちづくりの課題として、市として独自に介護従事者の人材不足解消や処遇改善に結びつくような施策を行うべき。



有害鳥獣対策について

問 住宅地等へのイノシシ出没が増えているが、出没状況や要因、対策方法など、もっと市民へ共有できないか。

答 これまでも出没に関する情報は発信してきたが、対策に関する情報提供が十分ではなかった。今後、迅速に情報発信を行うとともに、生ごみを放置しないなど地域でも取り組むことができる対策等の情報を、広報紙やホームページ等を活用し、積極的に発信していきたい。

交通事業者の人材不足について

問 タクシー利用の際、市民から待ち時間が長くなったと

いう声を聞くが、市内タクシー事業者の現状は。

答 運転手の数は、この5年で約2割減となり、運転手の数が不足していると事業者から聞いている。

問 交通事業者の人材不足に対する取組は。

答 合同会社説明会などを活用しながら、交通事業者に対する人材確保支援に努めていきたいと考えている。

再発言 積極的に対策に取り組む自治体もあるので、前向きな検討をしていただきたい。

委員会のメンバー構成及び所管事項

前号(225号)の常任委員会の紹介に引き続き、委員会を紹介します。このほかに、請願等調整委員会、決算・予算審査を行う特別委員会などがあります。

前号で紹介した常任委員会は、こちらのQRコードから確認できます。 [QR Code]

議会運営委員会
- 所管事項 -
議会運営や調整等に関すること
【委員長】 中原誠悟◎
【副委員長】 山田修司◎
江上しほり◎、山口雅夫◎、奥村橋倫◎、森田義孝◎、平山伸二◎

広報広聴委員会広報部会
- 所管事項 -
広報(広報紙)等の企画・作成に関すること
【委員長】 大野哲也◎
【部会長】 北岡あや◎
光田茂◎、山口雅夫◎、櫻井ちはる◎

広報広聴委員会広聴部会
- 所管事項 -
広聴(意見聴取)等の企画・運営等に関すること
【委員長】 大野哲也◎
【部会長】 山田貴正◎
桑原誠◎、豊福達也◎、船原基近◎、森田義孝◎、三宅智加子◎

※(名前後は所属会派)◎: 自由民主党市議団、●: 民主・護憲クラブ、⊙: 公明党議員団、○: 無所属

ぎかいの話題

大牟田市議会で採用する会派制について

大牟田市議会では会派制を導入しています。「会派」とは、理念や主義・主張を同じく、または近い者同士が集まって結成したグループのことで、本市議会では構成議員3名以上で結成することができます。

会派を結成することで、本会議では代表質問を行うことができることなどから、政治的な発言力が強くなります。また、複数の議員の意見がまとまっていることで、議会が円滑に進むという利点もあります。

各会派では、日々、政策会議や勉強会などを

行い、定例会や臨時会などでの議案審査には、会派としてまとまった主義・主張を持って採決に臨みます。

現在、会派紹介に記載のとおり、三つの会派が結成されており、会派に所属しない無所属議員が3名という状況です。各会派の所属議員数は、自由民主党市議団9名、民主・護憲クラブ6名、公明党議員団5名です。

なお、議会においては、少数意見も大切であることから、無所属議員も委員会や本会議の質間で意見等を述べる機会があります。

会派の紹介

会派の方針・考え・理念等を御紹介します。

自由民主党市議団



我々、自由民主党市議団は若手からベテランまで幅広い人材が所属している最大会派で、歴史と伝統を持ち、常に議会をリードしてきました。

全ての市民が大牟田の未来に希望の光を感じ、このまちに住み続けたい、移り住みたいと思ってもらえる政策の実現を目指してまいります。

民主・護憲クラブ



私たちは、働く者、生活者、弱い立場の人々を代表し、連合福岡・南筑後地域協議会の推薦を受けて活動する「民主・護憲クラブ」の仲間です。

それぞれが、得意分野を持ち、市政に対して、時には厳しく、時には優しく、市政の発展と市民生活の向上に向けて、頑張っています。

公明党議員団



「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立党精神を心に刻み、小さな声に耳を傾け、誰一人取り残さない社会の実現に向けて取組を進めています。

様々な課題の解決に向けて、国・県・市の強固な公明ネットワークを生かし、大牟田市の発展を目指します。

無所属議員



市議会だより 225号



市議会ホームページ



無所属議員の紹介は、前号(225号)及び大牟田市議会ホームページにて御確認ください。

編集後記

今年度も10月から11月にかけて、議会報告会を開催しています。地域住民、学生(高校、帝京大学、有明高専)の皆様の声を直接聴く貴重な機会と捉え、継続して取り組んでいます。(Y)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】大野哲也 【副委員長】北岡あや

【委員】光田茂 山口雅夫 櫻井ちはる

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社江崎印刷所